

エジプト

Arab Republic of Egypt

	2015年	2016年	2017年
①人口：9,628万人（2018年1月1日）			
②面積：100万1,450km ²			
③1人当たりGDP：2,501米ドル （2017年）			
④実質GDP成長率（%）	4.3	4.2	5.2
⑤消費者物価上昇率（%）	10.5	13.8	29.5
⑥失業率（%）	12.8	12.4	11.3
⑦貿易収支（100万米ドル）	△38,683	△35,435	△18,748
⑧経常収支（100万米ドル）	△19,831	△15,575	△3,390
⑨外貨準備高（100万米ドル）	13,282	20,858	33,214
⑩対外債務残高（グロス） （100万米ドル）	55,764	79,033	82,885
⑪為替レート（1米ドルにつき、 エジプト・ポンド、期中平均）	7.69	10.03	17.78

〔注〕④⑦⑧⑩はエジプト年度（7月～翌年6月）、2017年は上半期（2017年7～12月）の数値。
〔出所〕①⑤⑥：エジプト中央動員統計局、②：エジプト国家情報サービス、③⑨⑪：IMF、④⑦⑧⑩：エジプト中央銀行

■ 大型公共投資などで成長率は上向き

2016/17年度（2016年7月～2017年6月）の実質GDP成長率は4.2%で、前年度の4.3%を下回った。2017/18年度上半期（2017年7月～12月）に入ってからには上向きに転じ、5.2%となった。2016/17年度の成長に寄与したのは、政府主導の大型公共投資による総固定資本形成で11.3%増となった。外貨不足の解消により輸出向け製品の生産が再開された結果、財貨・サービスが86%増と大幅に回復した。

産業別では、卸・小売業（構成比13.6%）が民間消費の増加などを背景に、5.2%増と堅調に成長した。建設業の成長率は9.5%増と好調だった。背景には、人口が2018年1月に9,628万人と、1年前の9,213万人より大幅に増加しており、今後も人口増加が見込まれるため首都圏の開発が進んでいることがある。加えて、エルシーシ大統領が2014年6月の就任以降、発電、港湾、空港の新築や改修、スエズ運河の拡張などのインフラ整備を活発化させている。2018年6月の大統領再任により、引き続き新首都移転や発電関連、シナイ半島の開発の強化など、公共

事業を進める見込みであり、建設業は好調に推移すると予測される。観光業は治安の影響で低迷を続けていたが、政府が治安回復に力を入れ、2016/17年度は3.9%増となり、2017/18年度上半期は、44.5%増と加速している。2015年10月のロシア機墜落事件以降、休止していたロシアとの直行便も2018年4月に再開され、観光業の一層の回復が期待される。

外貨準備高については、2011年の政変以降の経済停滞による外貨不足が続く、2015年には外貨決済規制の強化のため輸入が困難な状況となり、政府は世界銀行や湾岸諸国からの支援など外貨不足の解消に奔走した。2016年に国際通貨基金（IMF）と総額120億ドルの融資に合意するなど状況は好転し、2017年12月時点の外貨準備高は332億1,000万ドルになり、2018年5月時点で441億ドルと過去最高水準となった。一方で、IMFからの融資の条件であった公共料金の値上げや為替自由化により、物価が高騰した。2016年11月の為替自由化前は固定レートで1ドル＝8.8エジプト・ポンド（以下、LE）だったが、2017年の平均為替レートは17.78LEとなり、大きく下落

表1 エジプトの主要品目別輸出入<通関ベース>

（単位：100万ドル、%）

	輸出（FOB）					輸入（CIF）			
	2016年		2017年			2016年		2017年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
原油	1,771	2,091	8.1	18.1	石油製品	3,155	3,490	5.3	10.6
既製服	1,174	1,369	5.3	16.6	鉄鋼一次製品	3,631	3,228	4.9	△11.1
肥料	708	1,049	4.1	48.2	小麦	2,229	2,610	4.0	17.1
プラスチック一次製品	500	723	2.8	44.6	プラスチック一次製品	2,336	2,362	3.6	1.1
各種調整食料品	650	658	2.6	1.2	医薬品	2,241	2,164	3.3	△3.4
生鮮果実	607	604	2.3	△0.5	無機・有機化合物	1,934	1,911	2.9	△1.2
生鮮オレンジ	516	544	2.1	5.4	トウモロコシ	1,670	1,707	2.6	2.2
石油製品	203	318	1.2	56.7	原油	1,063	1,735	2.6	63.2
絨毯・キリム	293	313	1.2	6.8	自動車	2,787	1,663	2.5	△40.3
石炭類	258	310	1.2	20.2	食肉	1,786	1,546	2.3	△13.4
総額（その他含む）	21,719	25,793	100.0	18.8	総額（その他含む）	68,142	66,020	100.0	△3.1

〔出所〕エジプト中央動員統計局

表2 エジプトの主要国・地域別輸出入<通関ベース>

(単位:100万ドル、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2016年	2017年				2016年	2017年		
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
アラブ首長国連邦 (UAE)	2,668	2,720	10.5	1.9	中国	9,319	8,053	12.2	△13.6
イタリア	1,430	2,182	8.5	52.6	ドイツ	6,081	4,483	6.8	△26.3
トルコ	1,346	1,858	7.2	38.0	イタリア	3,682	4,163	6.3	13.1
サウジアラビア	1,757	1,543	6.0	△12.2	サウジアラビア	2,750	4,035	6.1	46.7
米国	1,037	1,320	5.1	27.3	米国	3,800	3,862	5.8	1.6
英国	1,099	1,084	4.2	△1.4	ロシア	2,799	3,583	5.4	28.0
インド	636	884	3.4	39.0	ブラジル	2,172	2,689	4.1	23.8
スペイン	608	803	3.1	32.1	インド	2,197	2,337	3.5	6.4
中国	471	676	2.6	43.5	ウクライナ	2,732	2,309	3.5	△15.5
レバノン	761	663	2.6	△12.9	トルコ	2,636	2,075	3.1	△21.3
日本	52	63	0.2	21.2	日本	1,371	1,020	1.5	△25.6
アラブ諸国	9,605	9,624	37.3	0.2	アラブ諸国	7,843	9,698	14.7	23.7
総額 (その他含む)	21,719	25,793	100.0	18.8	総額 (その他含む)	68,142	66,020	100.0	△3.1

〔出所〕 エジプト中央動員統計局

した。通貨の下落は、輸入に依存している食品や生活用品などの値上げを引き起こし、2017年の消費者物価上昇率は29.5%と記録的な高さとなり、国民生活を圧迫した。通貨下落などの影響により、2016年に3,740ドルだった1人当たりGDPが、2017年に2,501ドルまで低下した。2018年に入り通貨は安定しており、物価上昇率も10%台で落ち着きを見せている。記録的な物価上昇による消費者買い控えが一段落し、建設事業などの公共投資や観光業の回復などが景気を下支えするとみて、IMFは2018年の成長率を5.2%と見込んでいる。

■原油、既製服などの輸出増で貿易赤字が縮小

エジプト中央動員統計局によると、2017年は、輸出が前年比18.8%増の257億9,300万ドル、輸入は3.1%減の660億2,000万ドルとなり（共に通関ベース）、貿易赤字は前年に比べ61億4,000万ドル縮小した。輸出の主要品目は、原油、既製服、肥料、プラスチック製品、各種調整食料品などである。品目別1位の原油は18.1%増、2位の既製服も16.6%増と好調だった。他の品目もおおむね好調であり、特に肥料が前年比48.2%増、プラスチック一次製品が44.6%増と大幅に増加した。国別ではアラブ首長国連邦 (UAE) が1位となり、真珠・宝石類、電気機械・部品、ジャガイモなどが輸出された。2位のイタリアへは鉱物燃料の輸出が前年比約2倍の9億7,800万ドルとなり、輸出の増加に寄与した。イタリア炭化水素公社 (ENI) による地中海沖の新たなガス油田の生産開始などを背景に、2018年も鉱物燃料は増産する見込みである。地域別にみると、大アラブ自由貿易地域 (GAFTA) 協定による域内関税率の削減もあり、アラブ諸国向け輸出が37.3%を占めた。

輸入の主要品目は石油製品、鉄鋼一次製品、プラスチック一次製品、小麦、医薬品だった。最大の輸入品目である石油製品が10.6%増、原油も63.2%増となり、石油関連の輸入が増加した。自動車は物価高騰などの影響で40.3%減となった。国別では、中国が構成比12.2%で最大の相手国だが、電気機器及び同部品、ボイラー及び同部品、鉄鋼製品などの輸入が減少し、前年比13.6%減となった。サウジアラビアは、石油製品が約2倍に伸び、その他の品目と合わせて46.7%と大幅な増加を見せた。

■対内直接投資は減少、日本からの投資は拡大

エジプト中央銀行によると、2017年の対内直接投資額（国際収支ベース、フロー、暫定値）は、流入が前年比9.6%減の125億1,100万ドル、流出が同10.7%減の51億

表3 エジプトの国・地域別対内直接投資
＜国際収支ベース、ネット、フロー＞

(単位:100万ドル、%)

	対内直接投資			
	2016年	2017年		
	金額	金額	構成比	伸び率
英国	6,556	4,677	37.4	△28.7
ベルギー	1,341	2,209	17.7	64.8
米国	1,385	1,853	14.8	33.8
アラブ首長国連邦 (UAE)	1,311	967	7.7	△26.2
サウジアラビア	296	369	3.0	24.7
フランス	580	210	1.7	△63.7
日本	85	184	1.5	116.7
中国	102	169	1.3	65.9
カタール	191	162	1.3	△15.3
クウェート	141	121	1.0	△13.9
EU	9,143	7,680	61.4	△16.0
アラブ諸国	2,278	1,918	15.3	△15.8
流入計 (その他含む)	13,843	12,511	100	△9.6
流出計	△5,736	△5,120		△10.7
ネット	8,107	7,392		△8.8

〔出所〕 エジプト中央銀行

2,000万ドルだった。ネットでは73億9,200万ドルの流入超で、前年比8.8%減だった。国別では、英国が前年比28.7%減であったものの引き続き1位であり、ベルギーが同64.8%増でこれに続いた。地域別にみても英国やベルギーを含むEUが約6割を占め、大きな存在感が伺える。EUからは銀行、石油・ガスビジネスへの投資がみられた。中国からの投資は、通信機器のファウエイの研究施設の投資などもあり、65.9%増となった。カタールからの投資について、2017年6月の国交断絶の影響で、投資の大幅な減少が懸念されたものの、前年比15.3%減で9位に位置している。

日本からの投資は前年比約2倍の1億8,400万ドルだった。豊田通商によるスエズ沿岸での大型風力発電プロジェクトなど、商社や発電関連企業による発電や再生エネルギーの案件があった。一方で、注目されたエジプト国内初の大型石炭発電プロジェクトの入札は、日本勢は技術的には最高位の評価だったものの、最安値の中国が優先

交渉権を獲得した。自動車関連では、2018年5月にレクサスのショールームがエジプトに初めてオープンした。

■日本の輸出入は減少、貿易黒字は縮小

2017年の日本の対エジプト貿易（日本側通関統計、ドル換算）は、輸出が前年比26.9%減の8億3,468万ドル、輸入が4.8%減の1億3,209万ドルで日本の黒字となったが、黒字額は前年より縮小した。最大の輸出品目の輸送用機器（自動車、バス・トラックなど）は、物価上昇や付加価値税の増税などの影響で販売が低迷し、45.9%と大幅に減少し、輸出減少の要因となった。輸送用機器、一般機械、原料別製品の上位3品目が、輸出の約7割を占めた。輸入を品目別にみると鉱物性燃料（構成比52.1%）が最大で、揮発油は減少したが、液化天然ガスは2倍以上伸びた。エジプトでの主要産業の一つである織物用糸・繊維製品も日本の輸入が拡大した。

表4 日本の対エジプト主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位：1,000ドル、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2016年	2017年				2016年	2017年		
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
輸送用機器	447,639	242,012	29.0	△45.9	鉱物性燃料	78,924	68,794	52.1	△12.8
自動車	390,709	208,486	25.0	△46.6	石油製品	57,044	19,867	15.0	△65.2
乗用車	219,140	118,690	14.2	△45.8	揮発油	54,496	17,707	13.4	△67.5
バス・トラック	152,355	85,055	10.2	△44.2	液化天然ガス	21,880	48,927	37.0	123.6
自動車の部分品	52,241	32,279	3.9	△38.2	その他	16,528	10,413	7.9	△37.0
一般機械	273,515	186,700	22.4	△31.7	衣類・同付属品	7,778	5,969	4.5	△23.3
原動機	152,621	86,600	10.4	△43.3	食料品	15,271	19,033	14.4	24.6
ポンプ・遠心分離機	17,232	30,511	3.7	77.1	野菜	5,136	7,303	5.5	42.2
建設用・鉱山用機械	37,381	17,563	2.1	△53.0	果実	4,982	5,963	4.5	19.7
荷役機械	16,106	12,767	1.5	△20.7	電気機器	12,428	12,299	9.3	△1.0
原料別製品	171,117	186,424	22.3	8.9	原料品	8,527	10,011	7.6	17.4
鉄鋼	81,656	123,768	14.8	51.6	原料別製品	6,034	10,167	7.7	68.5
金属製品	9,192	6,679	0.8	△27.3	織物用糸・繊維製品	3,825	6,991	5.3	82.8
ゴム製品	73,314	49,874	6.0	△32.0	非金属鉱物製品	1,376	1,707	1.3	24.1
電気機器	109,889	86,678	10.4	△21.1	化学製品	617	873	0.7	41.5
重電機器	34,890	16,241	1.9	△53.5					
通信機	7,281	3,373	0.4	△53.7					
電気計測機器	6,782	4,525	0.5	△33.3					
電気回路等の機器	14,150	23,852	2.9	68.6					
化学製品	57,360	54,161	6.5	△5.6					
有機化合物	12,559	9,953	1.2	△20.8					
医薬品	4,846	4,811	0.6	△0.7					
プラスチック	26,440	27,969	3.4	5.8					
食料品	27,151	39,761	4.8	46.4					
合計 (その他含む)	1,141,977	834,682	100.0	△26.9	合計 (その他含む)	138,717	132,090	100.0	△4.8

〔出所〕財務省「貿易統計」(通関ベース)を基に作成